

# 「成長の限界」とその先の未来 イージー・オイル時代の終焉と 新しい文明の興隆

2018年7月8日(日) 14:00~16:30 (13:30 開場)

光塾 COMMON CONTACT 並木町

参加費：1000円(学生500円) / 市民研会員は半額かつ同伴者割引あり / 事前予約が必要です(定員40名)

Web会議のシステムを使つての遠方からの参加が可能です(8名まで)。希望者は事前にお問い合わせください。

イージー・オイル時代は、過去のものになりつつあります。各種統計が、それを示しています。「成長の限界」が現実のものとなりつつあるのです。「有限な地球で無限成長は出来ない」と頭ではわかっているにもかかわらず、まさか自分の生きる時代にその限界がやってくるとは、ほとんどの人は想像もしていません。エネルギー環境が変わる時とは、文明の形が変わる時でもあります。「次の時代の文明」とは、一体どのような特徴を持っているのでしょうか。皆さんと一緒に、「半歩先の世界」を見通してみたいと思います。

## ◆講師プロフィール◆



## 山本達也さん 清泉女子大学地球市民学科教授

一般社団法人 Edition4 Studies 代表理事。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士(政策・メディア)。シリア国立アレppo大学学術交流日本センター主幹などを経て現職。技術がいかにして政治や社会を変革するのかという視点から、「次の時代」の政治・経済・社会システムの研究を行う。専攻は、国際関係論、公共政策論、情報社会論。著書に、『暮らしと世界のリデザイン：成長の限界とその先の未来』(花伝社、2017年)、『革命と騒乱のエジプト：ソーシャルメディアとピーク・オイルの政治学』(慶應義塾大学出版会、2014年)、『アラブ諸国の情報統制：インターネット・コントロールの政治学』(慶應義塾大学出版会、2008年)、『多様化する社会と多元化する知：「当たり前」を疑うことで見える世界』(共編著、ナカニシヤ出版、2017年)など多数。

ホームページは、[www.tatsuyayamamoto.com](http://www.tatsuyayamamoto.com)

お申し込みは市民研ホームページ  
[www.shiminkagaku.org/](http://www.shiminkagaku.org/)  
の専用サイトでも受け付けています

市民研 @ 光塾  
NPO法人 市民科学研究室 COMMON CONTACT 並木町

主催：NPO 法人市民科学研究室

お申込み・お問い合わせ：03-5834-8328 [renraku@shiminkagaku.org](mailto:renraku@shiminkagaku.org)

## ●市民科学講座 B コースとは

・科学と社会”をめぐって幅広いテーマをとりあげての、あるいはゲストの活動や言説に焦点をあてての、参加者と自由に語り合う講座です。

・進行役になる上田（市民研・代表）を含め、参加者と双方向での充実した議論ができるよう、工夫をこらした講座となります。ぜひ会場にいらして熱いライブの輪に加わってください。

・イベントの報告は後に『市民研通信』に掲載されます。また当日の投映資料、配布資料の一部などは市民科学研究室会員には無償で提供されます。この機会にぜひ市民科学研究室会員にご登録ください。

※市民科学研究室が主催（あるいは共催）する市民科学講座は次の4つのコースがあります。

A コース……外部講師（主として自然科学系の研究者）を招いて、特定のテーマで行う学術的な講演会

B コース……“科学と社会”をめぐって幅広いテーマをとりあげての、あるいはゲストの活動や言説に焦点をあてての、参加者と自由に語り合う講座

C コース……市民研の各研究会が担う、研究発表もしくは様々な形でのイベント

D コース……市民研事務所を使って軽食をとりながら、ゲストと少数の参加者との間で交わす気さくな談話の場

## ●市民科学講座 B コース（2015年7月～）これまでにご登壇いただいた講師の皆さん（敬称略）

橋島次郎、霜田求、林真理、五島綾子、最相葉月、眞鍋じゅんこ、榎木英介、三河内彰子、武田徹、三上直之、中田哲也、池尻成二、広石拓司、笠井利浩（講座の記録を順次、市民研ホームページで公開しています。）

## ●光塾へのアクセス



JR 渋谷駅の新南口改札から徒歩1分。

渋谷駅からは外に出ず、

埼京線への乗り替え連絡通路で新南口に出ると便利。

渋谷区渋谷3-27-15 光和ビル地下1階

tel. 03-6427-6462

## 「市民科学研究室」とは

市民科学研究室は（1）科学技術にかかわる様々な意思決定や政策形成への市民参加、（2）様々な社会問題の解決に向けた専門知の適正な活用、（3）"持続可能で生き生きとした生活"のための科学研究や教育の実践、に取り組んでいる NPO です。市民の問題認識力を高めるための講座や勉強会を運営し、市民が主体となった調査研究や政策提言や支援事業をすすめています。リビングサイエンス(=生活を基点にした科学技術)という概念を手がかりに、様々な角度から「生活者にとってよりよい科学技術とは」を考え、そのアイデアを実現していこうとしています。

電話：03-5834-8328 FAX：03-5834-8329

メール：renraku@shiminkagaku.org

ホームページ：www.shiminkagaku.org/